

# 經濟論叢

第118卷 第3・4号

哀 辞

故石川興二名誉教授遺影および略歴

国家独占資本主義論争における国家と社会……………池上 惇	1
合衆国の大規模農場経営の位置と その階級的性格(3)……………中野 一新	18
「プロシア型」農業進化の構造・序論……………加藤 房雄	48
利潤の内部留保, 新株発行を含む マクロ分配理論……………加納 正雄	70
アダム・スミスの国家論……………中谷 武雄	83
差額地代論における資本主義的土地所有の形成……………梅垣 邦胤	106
追憶文	
師を憶う……………出口 勇蔵	124

故石川興二 名誉教授 著作目録

昭和51年9・10月

京 都 大 学 經 濟 學 會

## 故 石川興二 名誉教授 著作目録

## 著 (編) 書

精神科学的経済学の基礎問題	弘 文 堂	昭和5 (1930)年
新体制の指導原理	有 斐 閣	昭和14(1939)年
第三の経済学	有 斐 閣	昭和38(1963)年
西田先生による西田哲学への道 (編著)	(自 費 出 版)	昭和42(1967)年

## 論 文

キャナンの富の概念に就きて(1)	経 済 論 叢	第10巻第1号	大正9 (1920)年1月
キャナンの富の概念に就きて (2・完)	経 済 論 叢	第10巻第3号	3月
経済学不進歩の原因に就きて	経 済 論 叢	第10巻第4号	4月
人格主義の立場に於ける経済と 人生の一考察(1)	経 済 論 叢	第10巻第6号	6月
収穫逓増減の諸観点	経 済 論 叢	第11巻第2号	8月
人格主義の立場に於ける経済と 人生の一考察 (2・完)	経 済 論 叢	第11巻第4号	10月
将来の産業的指導者としての日 本及び其他の諸国	経 済 論 叢	第11巻第5号	11月
正常需要及供給の動的考察と時 の要素	経 済 論 叢	第12巻第1号	大正10(1921)年1月
経済学の根柢をなす公益的精神 に就て	経 済 論 叢	第24巻第1号	昭和2 (1927)年1月
経済学の一部門としての経済学 本質論の意義に就て	経 済 論 叢	第25巻第4号	10月
アダム・スミス「富国民論」の 基本的考察	経 済 論 叢	第25巻第6号	12月
アダム・スミス「富国民論」の 研究対象並に方法の基本的考 察	経 済 論 叢	第26巻第1号	昭和3 (1928)年1月
経済学史基礎論	経 済 論 叢	第29巻第2号	昭和4 (1929)年8月
ディルタイ哲学と経済哲学(1)	経 済 論 叢	第32巻第4号	昭和6 (1931)年4月
ディルタイ哲学と経済哲学(2・ 完) —ディルタイの精神科学 の哲学の体系と其経済哲学的 意義—	経 済 論 叢	第33巻第2号	8月
経済学の認識主観としての実践 哲学者	経 済 論 叢	第34巻第1号	昭和7 (1932)年1月

マルクスに於ける精神科学的方法	経 済 論 叢	第34巻第4号	昭和7(1932)年4月
思想対策批判—我国現代の社会問題の意義と思想対策—	経 済 論 叢	第34巻第6号	6月
変革期の社会政策	経 済 論 叢	第35巻第2号	8月
安定期経済学と変革期経済学	経 済 論 叢	第35巻第5号	11月
現代社会問題より見たる琉球—現代社会問題研究の基礎としての国民性研究の一考察—	経 済 論 叢	第35巻第6号	12月
琉球農村共同体と我国理想としての『国民共同体』—国民性に基く現代社会問題の一考察—	経 済 論 叢	第36巻第1号	昭和8(1933)年1月
ヘーゲル史観の实践的構造(1)	経 済 論 叢	第36巻第4号	4月
ヘーゲル史観の实践的構造(2・完)	経 済 論 叢	第36巻第5号	5月
経済本質論(1)	経 済 論 叢	第37巻第1号	7月
市民主義・国家主義・国民主義	経 済 論 叢	第37巻第4号	10月
経済本質論(2)	経 済 論 叢	第37巻第6号	12月
ヘーゲル市民社会論と経済学	経 済 論 叢	第38巻第1号	昭和9(1934)年1月
満洲問題と国民主義	経 済 論 叢	第38巻第6号	6月
経済学史の基本問題	経 済 論 叢	第42巻第1号	昭和11(1936)年1月
経済学史の基本問題(下)	経 済 論 叢	第42巻第5号	5月
現代の「生の哲学」としての経済哲学—その概念と課題と立場—	経 済 論 叢	第42巻第6号	6月
革新原理としての「民有用国」に就いて—電力国策に現れたる経済的革新原理—	経 済 論 叢	第43巻第2号	8月
新国民主義の立場	経 済 論 叢	第43巻第4号	10月
新国民主義の立場(下)—その学史的考察—	経 済 論 叢	第43巻第5号	11月
新国民主義と国民共同体	経 済 論 叢	第44巻第1号	昭和12(1937)年1月
国民生命史観	経 済 論 叢	第44巻第3号	3月
国民生命史観の諸問題	経 済 論 叢	第44巻第4号	4月
『維新の詔』に於ける変革の国是	経 済 論 叢	第44巻第5号	5月
現代変革期に於ける日本国民経済学の意義	経 済 論 叢	第45巻第1号	7月
国民共同体の人間学的基礎	経 済 論 叢	第45巻第2号	8月
「民約論」に於ける共同体思想	経 済 論 叢	第45巻第5号	11月

共同体の人間学的考察	経済論叢	第46巻第1号	昭和13(1938)年1月
共同体思想の国民的性格	経済論叢	第46巻第3号	3月
共同体思想の国民的性格(下)	経済論叢	第46巻第4号	4月
共同体思想の生的基礎	経済論叢	第46巻第6号	6月
日本国民経済の根本性格	経済論叢	第47巻第2号	8月
経済学の発展と新日本経済学の性格	経済論叢	第47巻第5号	11月
戦争の意義と共同体的国内革新の急務	経済論叢	第47巻第6号	12月
日本共同体経済学の建設者佐藤信淵	経済論叢	第48巻第1号	昭和14(1939)年1月
日本経済学の根本原理	経済論叢	第49巻第1号	7月
社会問題と国民的性格	経済論叢	第49巻第2号	8月
現代日本の革新	経済論叢	第49巻第3号	9月
日本経済理論に於ける主体性の発展	経済論叢	第50巻第3号	昭和15(1940)年3月
非常時局下に於ける日支の態勢	経済論叢	第50巻第5号	5月
新体制の原理と政治経済	経済論叢	第51巻第5号	11月
現代日本の危機と経済学	経済論叢	第52巻第2号	昭和16(1941)年2月
東亜の新体制について	経済論叢	第52巻第5号	5月
現代世界学としての日本学の根本理念	経済論叢	第53巻第3号	9月
長期総力体制の確立と「いへ」の論理	経済論叢	第53巻第6号	12月
大東亜戦争の世界史的意義	東亜人文學報	第2巻第1号	昭和17(1942)年3月
世界的論理の転換者日本	経済論叢	第55巻第2号	8月
大東亜日本の確立と <sup>***</sup> 大家の論理	経済論叢	第55巻第4号	10月
創造的世界経済学序説—その課題と論理について—	経済論叢	第80巻第4号	昭和32(1957)年10月
創造的世界経済学の世界史的基礎(1)—原子力時代の経済学の課題と論理について—	経済論叢	第81巻第2号	昭和33(1958)年2月
創造的世界経済学の世界史的基礎(2)—自由・平等・博愛の世界経済学—	経済論叢	第81巻第4号	4月
今日の経済学の哲学	経済論叢	第84巻第4号	昭和34(1959)年10月

## エッセイ・その他

晩年のマーシャル先生を訪れし頃の思ひ出	『社会科学』特集マーシャル研究, 改造社	大正15(1926)年1月
晩年のマーシャル先生を訪れし頃の思ひ出	彦根高等商業学校商業及経済研究会パンフレット 第1号	大正15(1926)年3月
教育の意義と学制改革の四綱領に就て	同上	同上
谷口吉彦兄と当時の学部	経済論叢 第79巻第3号	昭和32(1957)年3月
彦根高商時代の思ひ出	『陵水三十五年』彦根高商35周年記念, 滋賀大学経済学部	昭和33(1958)年11月
白杉さんと私	『白杉庄一郎博士追悼論文集』学生刊行委員会	昭和37(1962)年3月
ドイツ生活を共にした田辺先生の思ひ出	『田辺元全集』第2巻月報 筑摩書房	昭和38(1963)年12月
河上先生の墓	『河上鑿著作集』第8巻月報4 筑摩書房	昭和39(1964)年9月
西田哲学と経済学 (下村寅太郎編『西田幾多郎』岩波書店, 昭和46年12月に再録)	『西田幾多郎全集』第14巻付録 岩波書店	昭和41(1966)年3月
人文社会諸学の改善と西田哲学	京都女子大学「人文論叢」	昭和41(1966)年4月
石川興二先生の巻	『思ひ出草』京都大学経済学部	昭和44(1969)年7月

## あとがき

石川興二先生の著作目録を作成するにあたって、多くの方々の御協力をいただいた。御遺族をはじめ、出口勇蔵（本学）名誉教授、桑原晋（日本大学）教授、杉原四郎（甲南大学）教授、松尾博（滋賀大学）教授、葛西孝平（京都教育大学）教授、および本学部資料室の方々に、厚く御礼申し上げる。なお、著作目録のうち、新聞などへの寄稿文は割愛したことを、お断わりしておきたい。

著作目録作成者 平井俊彦